

編集後記

最近、スマートフォン（コンピュータの機能を持った携帯電話）をよく見かけます。私も1年余り前に従来の携帯電話からスマートフォンに変えました。特に、大学生のスマートフォン普及率は90%を超えているのではないのでしょうか。数年前から就職活動に便利だということで、3年生ぐらいからスマートフォンに乗り換える学生が多く見られましたが、最近では、大学入学時にすでにスマートフォンを持っている学生がほとんどです。実際、関西大学のインフォメーションへのアクセスも3分の2がスマートフォンからのアクセスであるようです。

モバイルファーストという言葉がささやかれるようになってきています。モバイルファーストとは、ウェブサイトを作成する際にスマートフォンなどの携帯端末からの利用を前提としてウェブサイトを構築し、必要に応じてPCやタブレットに展開していく概念のことを言います。この考え方は、単に表示や操作を見やすくするだけでなく、サイト構築の仕組み自体をスマートフォンに最適化することが重要です。ITセンターもウェブサイトだけでなく、すべてのサービスをスマートフォン主体で考え直すことが必要になってきているようです。外見だけスマートフォンに合わせるだけでなく、スマートフォンの特徴を活かした使いやすさを追求していくことが望ましいと考えます。

学内の情報システムにつきまして、ご意見、ご要望がございましたら、ITセンター事務局もしくは各学部選出のITセンター委員にご相談下さい。また、平成23年度から「情報システム等の利活用に関する提案シート」により利用者からさまざまな提案を受け付けることができるようになってきました。この提案シートもぜひご利用ください。このファイルは、インフォメーションの文書ライブラリにあります。

最後になりましたが、ご多忙中のところ、「インフォメーションテクノロジーセンター年報」の執筆を賜りました諸先生方や職員の皆様方に厚くお礼申し上げます。本年報は、ITセンターにおけるこの1年間の研究成果や利用状況を学外に発信するもので、ITセンターのホームページと並び、情報発信の重要な手段の1つです。本年報も今号で第3号となります。本年報の内容が教職員の皆様の教育や研究に少しはお役に立っているものと期待しています。これからも皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(ITセンター副所長 榎原 博之)